音楽劇

風雲児マンショ

天正遣欧少年使節

FUWUNJO MANSYO

【キャスト】

大掛俊介　右門青寿　松尾あぐり
佐伯和来　近藤陽子　川村雅明
増山浩一　服部博行　高野宏之
谷代克明　杜原温子　水上武

【演　奏】

COCO華（ヴォーカル コンサルティーナ ブルースハープ）
馬平（マーピン）中国太鼓・新疆手鼓 サーフ&メーカー・中国木琴 中国シンバル・中国ドラ
銭騰浩（チェンタンハン）（中国の笙・笛）

この物語は2003年夏、九州の西の果て、教会が観える老作家土屋博文（60歳）の書斎から始まります。博文は教師を勤めた地方在住の郷土史研究家でもあります。離婚をした二人娘の貴子（35歳）がお使いから帰って来ます。日傘に白ワンピースが蝶のようです。「遅かったな」「うん」「また坂の上の教会に寄って来たとか」。13歳の子供がいる貴子は教会で時間を潰すのが日課のようになっています。「大海賊五峰王直と天正遣欧使節の小説は進みよるとね」。

王直は中国の貿易商人であった。天文9（1540）年、福江に来航し、領主宇久盛定に通商を求め、盛定はこれを歓待し福江に移住させた。福江市唐人町に残っている明人堂が王直の屋敷であったとの伝説が残っている。天文11（1542）年、王直は平戸に移り、印山寺屋敷付近に中国風の豪華な屋敷を構えた。平戸領主松浦隆信が王直を保護したのである。平戸は倭冠松浦党の本拠地であった。王直はインドのゴアを本拠地として、マラッカ海峡を越え、マカオに伸びて来たポルトガル商船と取引をするようになっていた。王直は貿易商人よりも海賊と呼ばれるに相応しかった。天文12（1543）年、種子島に二艘の大船が流れ着いた。漂着船は倭冠の大頭目五峰王直の待ち船である南蛮船であった。その日、種子島に鉄砲が伝来したのである。鉄砲伝来は戦国乱世の統一を早める結果をもたらした。周到に鉄砲隊を組織した織田信長は、その威力により天下統一の道を開くのである。鉄砲到来の6年後、1549年、ローマカトリック教会の一派・イエズス会の創始者であるフランシスコ・ザビエルが来日した。ポルトガル人が東洋にやって来る目的は「霊魂と胡椒のため」といわれる。キリスト教の布教と貿易であった。こうしてキリシタン宗と呼ばれる西洋の宗教が西日本に広まった。天正10年、アレシャンドロ・バリニャーノは少年使節をキリシタン大名の名代としてヨーロッパへ派遣することを思い付いた。

「立派な血筋。父と母に別れてしまった、よるべない少年。すでにキリストの僕（しもべ）となってデウス様に仕えることを誓っている優秀な日本の子供」。

伊東マンショは大友宗麟の名代として選ばれた。マンショは大友宗麟の「親戚の親戚」であった。日向（宮崎県）でマンショが7、8歳の頃、日向の国は薩摩（鹿児島県）の島津氏によって攻められた。伊東家は命からがらに豊後の国へ逃れた。マンショの父修理亮（しりのすけ）は殺されてしまい、母は豊後に逃れてすぐに再婚してしまった。少年マンショは父を失い母に見捨てられ天涯孤独の孤児となってしまった。

マンショは街路を彷徨う少年であった。ある夕暮れ、マンショは不思議な老人と遭遇する。「なにが悲しい。なにが寂しい」。マンショは自分の生い立ちを老人へ語る。「おじいは神を信じるか」「神は信じない。しかし、神は恐ぶ」。老人は豊後の国を偵察している五峰王直であった。かつて王直はマンショの父修理亮に命を助けられたことがあった。マンショは「俺（おれ）に付いて来い」という王直の誘いを断る。王直は平戸で妻を娶り息子俊海と娘美保をもうけていた。美保は17歳の娘盛りであった。

天正10年1月28日、四人の少年が長崎の港を出発した。伊東マンショ、14歳。中浦ジュリアン、14歳。ジュリアンは西海の領主小佐々水軍の嫡子である。千々岩ミゲル、13歳。ミゲルは有馬晴信と大村純忠の名代である。原マルチノ、12歳。帆船時代。インド航路のポルトガル船は四隻航海すれば二隻は沈むといわれた時代。四人の少年はアフリカの希望峰を越え8ヶ年余の大航海をした。「夢はローマへ」。ヨーロッパは金色に輝くルネッサンス時代であった。その四人に付かず離れず従う五峰王直と娘美保。

王直「わしには疑うことを知らないマンショがわからん」。1585年。四人の少年はローマ教皇グレゴリオ十三世と謁見する。

作家土屋博文のイメージは自由奔放に飛躍します。歌あり踊りありのダイナミックな音楽劇です。物語は二人の音楽家の生演奏で進みます。そして、四人は懐かしい日本へ帰って来ます。しかし…。

【スタッフ】
作・演出：岡部耕大
作曲：COCO華
美術：寺岡崇
照明：西尾憲一
音響：タチバナ音響
振付：古賀豊
写真：山本悟正
衣裳：松竹衣裳
宣伝美術：岡部萌子
舞台監督：早津信久
企画・制作：岡部企画

	10/9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(祝)
14:00			❀	❀	❀
18:30	❀	❀			

9/1(日)発売開始 全席指定
- 一般 4,500円
- ペアチケット 8,400円（要予約・岡部企画扱い）
- グリーンチケット 2,500円（18歳以下・岡部企画扱い）

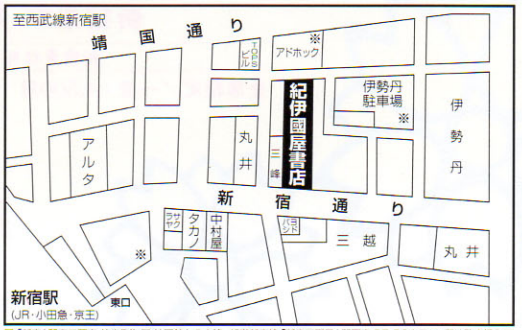
お問い合わせ・前売り
- 岡部企画 044-933-9754
- チケットぴあ 0570-02-9988
- イープラス（パソコン・ケータイ） eee.eplus.co.jp
- キノチケットカウンター（店頭販売のみ 10:00～18:30） 新宿東口紀伊國屋書店5F

2003年10/9(木)▶13(月)

新宿東口
紀伊國屋ホール
紀伊國屋書店 新宿本店4階
TEL 03-3354-0141

■企画・制作／岡部企画

TEL.044-933-9754　〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-7
URL http://www3.plala.or.jp/koudai/　e-mail ko@lilac.plala.or.jp



■「新宿」駅東口下車 徒歩5分 ■地下鉄丸の内線、都営新宿線「新宿三丁目」駅下車 B7・B8出口 ※印は駐車場入口